

主の来臨の予言

(2)

主イエスがご自身の来臨に関して語る

聖書：マタイ24:27-28. 25:1. 26:64. 啓2:28. 3:3, 11. 22:12, 20

I. 「いはずまが東から出て西へひらめき渡るように、人の子の来臨もそのようである」

——マタイ24:27：

- A. キリストの再来には二つの面があります。秘密の面は、目を覚ましている彼の信者たちと関係があります。公の面は、不信のユダヤ人また異邦人と関係があります。
- B. いはずまは、大患難の後に起こる公の面を象徴しています。盗人が来ることは、大患難の前に起こる秘密の面を象徴しています——29-30, 43節。
- C. いはずまのひらめきが地を打つような主の来臨は、主のパルーシアの終わりのしるしであり、主が電気のようなことを暗示しています——3節. ルカ17:24。

II. 「死体のある所には、はげたかが集まるものである」——マタイ24:28：

- A. はげたかは、キリストと彼の勝利者たちを指しています。彼らは、素速く飛ぶ軍隊のようにやって来て、反キリストと彼の軍隊に対して戦い、それらをハルマゲドンで滅ぼします——出19:4. 申32:11. 28:49. イザヤ40:31. ホセア8:1。
- B. キリストが現れる時、キリストと彼の勝利者たちは、はげたかのように素速く空中から現れます。

III. 「その時、天の王国は、十人の処女が自分のともし火を持って、花婿を迎えに出て行くようなものである」——マタイ25:1：

- A. わたしたちは迎えに出て行く処女であり、キリストは来臨する花婿です——参照、9:15。
- B. 聖書の中には、一組の宇宙的な夫婦があります。すなわち、花婿と花嫁です。キリストは再来する時、彼の花嫁のために来る花婿となります。
- C. 神の支配、すなわち王国は、キリストの婚姻と関係があります。キリストの婚姻は、神の永遠のエコノミーが完成したことの結果です——啓19:7：
 - 1. 新約における神のエコノミーは、キリストの贖いと神聖な命を通して、キリストのために花嫁、召会を得ることです——ヨハネ3:29。
 - 2. 聖霊の歴代の絶え間ない働きによって、この時代の終わりに、この目標は到達されます。その時、花嫁、すなわち、勝利を得た信者たちは用意を整え、そして主が来られます。

IV. 「今から後あなたがたは、人の子が大能者の右に座し、天の雲に乗って来るのを見る」——マタイ26:64：

- A. 主は十字架に釘づけられる前、地上において人の子でした。彼は復活の後も、天に

においてやはり人の子です(使徒7:56)。彼は雲に乗って再来する時も、やはり人の子です。

- B. 神のご計画を達成して、天の王国を設立するために、主は人でなければなりませんでした。人がいなければ、神のご計画は地上で遂行されることができませんし、天の王国も地上に構成されることができません——マタイ4:4。

V. 「わたしはまた、彼に明けの明星を与える」——啓2:28:

- A. キリストは、再来する時、彼の来臨のために目を覚ましている彼の勝利者たちに対しては、ひそかに明けの明星であり、また褒賞となります。他のすべての者たちに対しては、公に太陽として現れます——22:16. マラキ4:2:

1. 王国において、主はご自身の民に対して、公に太陽として現れます。
2. 大患難の前に、彼はご自身の勝利者たちに対して、ひそかに明けの明星として現れます。

- B. 「主は明けの明星、／目覚めさす褒賞；／やみの中で照らす、／主を愛すものを。／なが光を慕い、／わが目明るくされ、／目を覚まして祈り、／再臨待ち望む」(詩歌156番)

VI. 「もしあなたが目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。いつの時、わたしがあなたに臨むか、あなたは決してわからないであろう」——啓3:3:

- A. 盗人は、知らないうちにやって来て、尊い物を盗みます。
- B. 主イエスは盗人のようにひそかに、彼を愛する者たちへとやって来て、彼らを彼の宝として取り去ります——マタイ24:43。
- C. キリストは価値のあるものを「盗みに」やって来ますから、わたしたちは尊いものになることと、彼の秘密の来臨の時に彼によって「盗まれる」のにふさわしくなることを尋ね求めるべきです。
- D. 正常なクリスチャンは、主によって盗まれる資格のある者です。
- E. 盗人としての主の来臨のために、わたしたちは目を覚まし、用意を整える必要があります——42, 44節。

VII. 「わたしはすぐに来る。だれもあなたの冠を奪うことがないように、自分の持っているものをしっかりと保っていなさい」——啓3:11:

- A. 主はご自身の回復の中の召会を、彼が来臨するという感覚の中にもたらしめます。なぜなら、彼女は彼を愛しているからです。
- B. 主の回復の中のすべての召会は、主が再来するという励ましの下で主を愛するべきです。
- C. わたしたちが主の回復の中で彼について証しするとき、主の再来はわたしたちにとって尊いものであるべきです。

VIII. 「見よ、わたしはすぐに来る。わたしの報いはわたしと共にあり、それぞれの働きにしたがって与える」——啓22:12:

- A. 「わたしはすぐに来る」は、主の再三にわたる警告です。それはわたしたちが、彼の再来の時の褒賞をよくよく思うためです——7, 20節。

B. この褒賞(文字どおりには、賃金)は、キリストの裁きの座で信者の一人一人に与えられます——Ⅱコリント**5:10**. Ⅰコリント**4:5**. ローマ**14:10**. マタイ**16:27**。

IX. 「『**しかり、わたしはすぐに来る**』。アーメン。主イエスよ、来たりませ！」——啓22:20:

A. 主は再びわたしたちに、彼がすぐに来ることを警告します——**7, 12節**。

B. 全聖書は、主の来臨に対する願いで終わっており、それは「主イエスよ、来たりませ！」という祈りで表されています。